**社会医学講座医学教育学分野**

**教育・研究・診療及び管理運営等に関するアンケート**

候補者 現職

氏名

1. **医学教育**
2. **以下の項目について，実績あるいはお考えを記載して下さい．**
3. 学生（大学院生を含む）に対する講義，実習経験（担当科目と担当年数）

　　 　　担当科目　　 　学生区分　　　講義・演習・実習区分 　　担当年数

例） 総合○○学　　 医学科3年生　　　 　　　講義　 　　 　　　10年

1. 上記担当科目のうち，科目責任者（シラバス記載）があれば，その科目
2. アクティブラーニング形式による授業の経験があれば，具体的内容，さらに，case-based learning，team-based learningの試みや実績について
3. 学生の評価方法とくに，構成主義的評価の方法，ポートフォリオの利用などについて

⑤　これまで医学教育において試みた工夫とその成果等

⑥　医学教育のグローバルスタンダード2015年版に沿った教育プログラムの見直しが各大学で進んでいます．今後の医学教育の中でどのような取り組みを行うべきでしょうか？

　⑦　医学教育の分野別評価受審について，貴学の現在の進捗状況と先生の役割

　⑧　医学教育モデル・コア・カリキュラムと独自の特色ある選択カリキュラムについての関連をどのように考えますか？

⑨　医学教育における学外施設（教育機関と医療機関）との連携をどのように構築しますか？とくに，学外の教育指導者への教育意図の意思統一やFDの工夫について

　⑩　医学教育の国際化について

⑪　近年，研究マインドを持たない医師が増えており，将来の日本の医学・医療のレベル低下に結びつくことが危惧されています．医学教育の中で研究マインドを醸成するための方策等は？

⑫　卒後臨床研修，専門医育成について，これまでの実績も踏まえてのお考えは？

⑬　新専門医制度が開始される中で，今後の大学院教育をいかにすべきでしょうか？また，大学院教育の中で医学教育学分野として果たすべき役割についてのお考えは？

⑭　地域における人材確保のために，学生に対する取り組みをいかにすべきでしょうか？

⑮　入学試験における地域枠について，卒後に地域に残る医師を優先的に入学させられるような工夫はしておられますか？

⑯　入学試験における学士編入学について

　⑰　卒業時の臨床レベルをできるだけ上げておくための方策について

　⑱　入学時から学力を低下させず，６年間通して能動的に勉強をする習慣をつけさせるための方策について

**２）医学教育に係るこれまでの業績を記載して下さい．**

① 教育受持時間を教えてください

　平成26年度　　　　　　　　　　時間

　平成27年度　　　　　　　　　　時間

　 平成28年度　　　　　　　　　　時間

　 平成29年度　　　　　　　　　　時間

平成30年度　　　　　　　　　　時間

学生による講義評価があれば，その総合評価点数（可能な範囲で，過去5年まで）

　②　教育業績，学内外の教育関連の委員会活動，役職，FDや教育ワークショップ等の参加歴等

　（例）

（教育業績）

1. 2017年 3月31日

○○大学　教育功績賞

　　2. 2018年 7月10日

　　　 日本○○教育学会　優秀演題賞

（教育関連の委員会活動）

1. 2015年4月1日～2018年3月31日

○○大学医学部教育委員会

1. 2017年4月1日～現在

○○大学医学科入試委員会

（教育関連の役職）

1. 2015年4月1日～2018年3月31日

○○大学医学部教育センター長

1. 2017年4月1日～現在

○○大学医学科カリキュラム委員長

（FDや教育ワークショップ等の参加歴）

1. 2017年度医学教育指導者ワークショップ，東京，2017.7

データから紐解く医学教育の課題

1. 2018年度○○大学FD講演会，〇〇大学，2018.7

シミュレーション教育の現状と課題

　③　医学教育関連業績（著書・原著・総説・その他）

　（例）

(原著)

1. 鳥大太郎，大山直之．

医学教育に係る問題発見解決能力評価法の開発．

日本医学教育雑誌 8：111-124, 2018.

　④　医学教育に関する学会（国際，国内）発表，講演等に関する業績

　（例）

（国際学会）

1. Toridai T, Yonago T, Daisen H.

How e-learning improve educational deficiency?

15th Asian-Pacific Medical Education Conference, Chicago USA, 2018.3

（国内学会）

1. 鳥大太郎，大山直之．

シミュレーター教育の役割の解明と実際．

第○回日本医学教育学会総会，横浜，2017.7

（講演等）

1. 鳥大太郎，米子睦美．

診療参加型臨床実習の課題．

第○回医学教育セミナーとワークショップ，東京，2017.7

1. 鳥大太郎．

医学教育の分野別評価の現状と取り組み．

2018年度○○大学FD講演会，東京，2018.7

⑤ 医学教育に関する科研費等の研究費取得

(例)

1. 2018年度文科省科学研究費（基盤一般C）

医学教育における新たなTBLの手法とその効果に関する研究，468万，代表者

1. **研究**

**以下の項目について，実績あるいはお考えを記載して下さい．**

①　教室員その他に対する研究指導実績（できるだけ具体的に．大学院での学位指導含め）

②　施設内における専門的な研究グループの指導的位置にあるとすれば，その名称と年数を記載して下さい．

③　他施設との共同研究の実績（研究グループを結成しているなら，その名称，役割および年数）

④　提出いただいている研究業績目録の中で，Web of Scienceによる被引用回数の多い順に10編の原著論文とその被引用回数（論文の記載様式は研究業績目録と同様で，筆者名，雑誌名なども記載）

⑤　これまでに自らが中心的役割を担った臨床研究の中でUMIN，Clinical Trials.govなどに登録したものがあれば，その研究名，ID，自らの役割について，代表的なもの５つ以内．論文として発表しているものがあれば，その論文名も合わせて記載して下さい．

⑥　これまでのご自分の研究の特色と今後の研究における抱負を述べて下さい．鳥取大学に赴任した場合の研究の継続性についても触れて下さい．

1. **診療**

**以下の項目について，実績あるいはお考えを記載して下さい．**

* 1. 特定の専門分野があれば，その診療経験

専門分野名（ 　　 ） 年数（ 年 月）

* 1. 特定の専門医の取得実績
  2. 専門分野の診療と教育をどのように考えますか？

1. **大学・施設の管理運営**

大学・施設内における教育関連以外の役職，各種委員会の名称と年数

(注)管理・運営関係以外で特記すべき役職経験があれば余白にお書き下さい．

　　　　役職名　　　　　　　　　　　 年数

1. **鳥取大学医学部にご赴任になった場合の教室の運営方針**

①　医学教育学分野を担当する上での教育・研究に関する運営方針について記載して下さい．

②　今後の教室運営における抱負を述べて下さい．

**６． その他参考となる事項があれば，記載して下さい．**（これまでに査読した論文の雑誌名など．履歴書および研究業績目録の記載内容との重複は避けること．）